

清水南道場 道場だより 『頑張れ！！春田 純』

2014年9月26日(金)

本日の道場稽古に、2012 ロンドンパラリンピック、400m リレー4 位入賞の春田純さん(清水区在住)が稽古見学、体験入門に来てくれました。春田純さんは15歳の時、骨肉種で左足の膝から下を切断し義足による生活をし、清水区内の建設関連会社に勤めながら、陸上競技(短距離走、100m11秒95の日本記録保持者)を行っているアスリートです。私の友人が以前から支援活動を行っており、道場稽古を見学してみたい、との要望から本日の稽古となりました。

3週間後に迫ったアジアパラリンピック大会の練習期間でもあり、大変貴重な時間の中、来てくれました。当初は20:00頃から自分の練習があるので、それまでとの予定でしたが、稽古を体験し、見学するにつれ最後までいてくれました。

基本稽古の後に、話を聞く時間を作り、質問や貴重な体験談を聞かせていただきました。

「練習の時から、100%以上の力を出し、決して手を抜かない。」

「中途半端な練習からは自信は生まれません。」

「早く走るためには、心と身体をリラックスし、自分本来の動きを引き出す。」

「走っているときに力を入れるのは、足でグラウンドを蹴る瞬間だけ」

「フィジカル(体力)だけでなく、メンタル(精神)トレーニングも毎日行っている。」

当然、空手と陸上では体の使い方が違いますが、競技に対する取り組み方、その姿勢、考え方は本当に共通点ばかりでした。春田さんも稽古終了後に、私が稽古中に道場生に言っていることに大変感銘を受けました、と言ってくれました。

現在はアジアパラリンピック大会に向け、密度の濃い張りつめた練習を行っていますが、本日の稽古見学がよい刺激になりました、と言ってくれました。

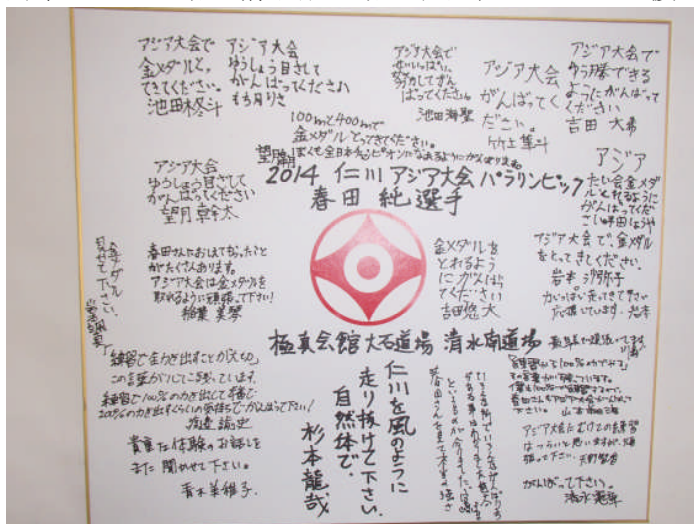
それ以上に、道場生たちには貴重な体験になってくれたと思います。義足をはずし、切断された素足を見せてくれました。義足になったおかげで、こうして陸上競技ができ、日本記録保持者となり、世界のひのき舞台であるパラリンピックにも出場できる。今日のみんなども知り合え、話ができることに喜びを感じていました。

10月18日からのアジアパラリンピック大会では必ず金メダルを取ると約束してくれました。

頑張れ！！春田 純

極真会館 大石道場 清水南道場は春田純さんを大応援します。

押忍



清水南道場 杉本龍哉(参段)

